

プレス発表資料(お知らせ)

平成18年12月27日
独立行政法人防災科学技術研究所

第3回緊急地震速報講演会(静岡)

- 緊急地震速報の本運用開始を迎えて -

独立行政法人 防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、富士常葉大学・NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会と共同で「第3回緊急地震速報講演会 緊急地震速報の本運用開始を迎えて - 」を下記の通り開催いたします。

1. 日 時 平成19年1月10日(水) 13:30~17:05
2. 開催場所 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)映像ホール
〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL 054-203-5710(代表)
<http://www.granship.or.jp/information/access.html>
3. 主催 (独)防災科学技術研究所・富士常葉大学・(NPO)リアルタイム地震情報利用協議会
4. 後援 気象庁・(財)震災予防協会・(財)地震予知総合研究振興会・日本地震工学会・(社)土木学会・(社)日本建築学会・(社)地盤工学会
5. プログラム 別紙のとおり
6. 定 員 100名(申し込み順)
7. 参加申込 <http://www.real-time.jp/>
上記ホームページよりお申込みください。
8. 参加費 2,000円

* 本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、静岡県政記者会

(内容に関するお問い合わせ)

NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 水井
電 話: 03-5366-2720
FAX: 03-5366-2740
E-mail: mizui@real-time.jp

(連絡先)

独立行政法人防災科学技術研究所
企画部広報普及課成果普及係 佐竹、山科
電 話: 029-863-7783
FAX: 029-851-1622

(別紙)

第3回緊急地震速報講演会のご案内

防災科学技術研究所は、文部科学省の委託を受け、気象庁、リアルタイム地震情報利用協議会、日本気象協会と共同で、緊急地震速報を実用化させるための研究プロジェクトを推進してまいりました。その成果もあり、この8月1日より気象庁による緊急地震速報の先行的運用が開始され、(財)気象業務支援センターから情報配信が行なわれております。また、多くの企業により、緊急地震速報を、数百万の国民に瞬時に伝達するためのシステムや、緊急地震情報を利用した防災対応システムの開発が行われており、地震災害の軽減の為に緊急地震速報が更に様々な分野で実用的に使用される条件が揃いつつあります。

本講演会では、地震災害の軽減に資するべく、緊急地震に関連する諸機関の検討状況や成果を中心にご紹介します。地震防災に興味をお持ちの方々の多数の御来場を期待しております。

・講演会プログラム

司会 大保 直人 NPOリアルタイム地震情報利用協議会 副会長

1) 13:30-13:40 開会挨拶

藤縄 幸雄 NPOリアルタイム地震情報利用協議会 専務理事

2) 13:40-13:50 防災科学技術研究の目指すところ

小中 元秀 (独)防災科学技術研究所 理事

3) 13:50-14:10 緊急地震速報の先行運用および一般への報知

齋藤 誠 気象庁地震火山部 即時地震情報調整官

4) 14:10-14:30 緊急地震速報の精度と今後の高度化について

堀内 茂木 (独)防災科学技術研究所 総括主任研究員

5) 14:30-14:50 防災対応利活用システムの開発状況と課題

藤縄 幸雄 NPOリアルタイム地震情報利用協議会 専務理事

休憩(14:50-15:00)

6) 15:00-15:40 緊急地震速報と連動した学校向け防災教育・訓練システム

源栄 正人 東北大学大学院工学研究科 教授

7) 15:40-16:10 東海地震想定震源域直上で緊急地震速報をどう生かすか?

長尾 年恭 東海大学海洋研究所 教授

- 8) 16 : 10-16 : 30 地上デジタル放送による防災情報データ配信
玉木 忠宏 パシフィックコンサルタンツ株式会社 システム企画部長
- 9) 16 : 30-17 : 00 基調講演：東海地震の防災対策と緊急地震速報
井野 盛夫 富士常葉大学環境防災学部 教授
- 10) 17 : 00-17 : 05 閉会挨拶
井野 盛夫 富士常葉大学環境防災学部 教授

以上